

令和7年度第2回太宰府市子どもの権利条例検討部会 議事録（要旨）

日時：令和7年6月17日（火）午後6時00分～午後7時00分

場所：太宰府市子育て支援センター 多目的室

出席委員：大西部会長、杉本部会員、伊藤部会員、二田部会員、田中部会員、

野中部会員（以上6名）

欠席委員：なし

市関係出席者：松尾子育て支援課長、大塚係長、高松参事補佐、行武主任技師、
外尾

傍聴者：1名

議題：意見聴取方法（案）について

開 会

○事務局

挨拶。

部会長から昨年度福岡県人権啓発情報センターで開催された子どもの権利に関する報告書をいただいたので、ご覧いただきたい。

もう一点事務連絡。事務局職員の交代の紹介を行う。（職員紹介）

部会長に進行を交代する。

○部会長

挨拶。

スケジュールと本日の会議の目的の部分を説明していただく。

○事務局

スケジュールと本日の会議の目的を説明。

○部会長

意見聴取方法（案）について事務局から説明をお願いする。

○事務局

下記検討内容について事務局より説明

- ・子ども向けアンケートの対象者について
- ・大人の意見聴取方法について
- ・アンケートの内容についての修正案について
- ・大人向けのアンケートの内容について
- ・回答方法について

○部会員

アンケートは漢字バージョンとひらがなバージョンができるのか？

○事務局

アンケートフォームの仕様上、ルビがふれないので、読めない漢字がないようにしていく。

○部会員

小学校4年生ぐらいまで出てくる漢字は大体読めるだろうけど、4年生後半で出てくる漢字は工夫されたほうがいいと思う。

○事務局

表現含めて子どもたちが答えられるように整えていく。

○部会員

アンケート調査の対象者で市内の公立小学校中学校と市内公立私立高校と書いてあるが、私立中学校もアンケートを取っていいのではないかと思う。それとアンケート調査の外国籍の児童というところは、アンケートに日本語や漢字があるから分けていると思うが、外国籍の児童とあえて分けてとらなくていいと思う。

○事務局

外国籍の児童については、学校で回答ということで示しており、どのくらいおられるかわからないということもある。最終的には外国籍というところで何かの違いが出てくるというか、そこで分けるわけではなく、その中に含まれてくるような結果になる

と考える。

○部会員

市内在住ということは、学校に行っていなくてもアンケートに回答してもらうということか。

○事務局

小学校中学校に関しては学校でアンケート調査を行う。私立の中学校は対象になっていない。理由は市内の小学校の4年生以上の数と中学校の3年生までの数が大体同じぐらいになり、そこに私立の中学校が加わってくると中学校の方が多いということも出てくるため、均衡をとるという意味合いで、小学校4年生から公立の中学校3年生を対象にしている。

○部会長

数のバランスを考えて今回は公立小・中学校で数を合わせるということになるか。

○事務局

はい。

○部会長

他に何かお気づきの点はあるか。

○部会員

市内在住の小学校中学校生が対象で、高校は、市内在住じゃなくてそこに所属している高校生を対象にしているということは、市内在住の高校生には特段アンケートは取らないということか。

○部会員

「太宰府市が好きですか」というアンケートに関しては市外から来る子たちにしてみると、筑紫台高校にしても多分太宰府駅周辺のエリアでしか生活していないと思うから、質問に対して答えられないかもしれない。

○部会長

そういう意味では小中学生と、高校生だとこの問い合わせはだいぶ差が出てくるかも知れない。市外にでていく高校生に聞く機会を得るのは、難しいかもしれない。

○部会員

私の個人的な意見だが、自分は子どもが3人いて、そこからだけでも知り合いから相当集められそうな気がする。

○部会長

そうですね。ただ、対象が今度はなかなか把握できなくなってくる可能性がある。

○部会員

太宰府市がやっている公式LINEは高校生とかは見ないか。

○部会員

高校生が公式LINEを見ているかは高校生の保護者は把握しているのでは。

○部会長

そうですね。

○部会員

無理して集めるかどうかというのもある。

○部会長

回収のことを考えると学校単位で市外の人も含まれるが、それが一番確実に集められるというところはある。市内の公立、私立高校の在学、在住しない通学している高校生ということで4校。でも逆に言うと市内に4校も高校があるから結構データが取れると思う。

○部会員

太宰府市独自でという形にはならないかも知れないが、一般的な高校生の意見という形では取れる。

○部会長

今回はこの対象でよいか。ご依頼してお願いしていくというのは学校単位がいいか。あとタブレットで回答してもらうことになると思うので学校で取り組んでもらうのが一番いいかなと思う。

○部会員

無作為に、市のホームページとかに載せておいて、今、市の子どもの権利条例を作る活動をしてますので、小中学校とかにはアンケートをとるけど市内在住の高校生でやりたい方はどうぞみたいな感じでフリーな形で集めることはされないので。

○事務局

今のところそれは考えていない。

○部会長

対象がはつきりしないと、何人に配って、何人から回収したかとかいう、回答率とかが出なくなってしまうところはある。あとは自由にアクセスすると誰が回答したかわからない。

○部会員

アンケートがすごく答えやすくなつたと感じた。

○部会長

とてもシンプルで、トントンと答えていけるようになつた。大人のアンケートの意見聴取の方法のところで、小中学校の保護者への依頼はどんなふうに考えているか。

○事務局

学校との連絡のアプリ「テトル」を使わせていただく予定。アプリでお知らせし、アンケートのWebの方に誘導することを想定している。

○部会長

小中学校に通うお子さんの保護者の方に一斉に連絡がいくのですね。

○事務局

今回子どもたちにアンケートを取る際にも、保護者の方に一言ご協力の依頼をするかたちになると思うので、あわせて保護者の方自身でお答えいただけないかということでアプリを使って依頼したいと思う。

○部会員

逆に母数はあまり増やしてもいけないと思うが、保育園とか幼稚園の保護者は対象ではなくて、小学校以上になるか。

○部会長

いまは保育所とかは入っていない。

○部会員

集め方も、小中学校の方がテトルで、1回で終わるので、わかりやすい。幼稚園保育園と、相当数あるので何かそれぞれ依頼するのも大変だと思う。

○部会長

そうですね。

○部会員

兄弟がいる場合は、それぞれ小学生の子と中学生の子どもがいる場合、保護者はそれぞれ回答するか？

○部会長と事務局

それぞれではなく、1回の回答をお願いする。

○部会長

小さなお子さんをお持ちの保護者の意見というところでいうと、なかなかそのあたりを今回は取れていない。そこまでデータがいるかどうかわからない。例えば質問項目にお子さんの年齢とかが入れられれば、この方は小さなお子さんの保護者かなというのはわかるんですけど、難しいか。

○部会員

そこまで年齢で絞る回答がいるかどうか。

○部会員

そうですね。最終的に条例作成となったときに18歳未満の子どもは全て子どもとして考えると言っている以上はその子どもの年齢で細分化する必要がないのでは。

※一同賛同

○部会員

小学校の保護者には下の子たちがいる可能性はある。市役所の方たちにも小さなお子さんがいる方とかもいらっしゃるのかなと思うと、さっきの高校生の話じゃないです

が、一般的な話を聞くという面では、それはまだできるのかなと思ったりする。小さい子どものお子さんをということであればその市内の認可保育園保護者に協力を依頼するかというぐらいですか。

○部会長

数を増やす必要があるかというのと、小さなお子さんを持つ保護者の方にお聞きして、例えばこの内容とクロス集計して特徴を出していくとかであれば聞いていく必要があるが、そこまでなければ高校生と同じように傾向をつかむというものであれば。

○部会員

ある程度数が取れればいい。個人的にはちっちゃいお子さんを持つ親御さんの意識として例えば子どもに独自な権利を認めないと認めるとか、この辺に何か差があったりするのかなとか。

○部会員

子どもたちは保護監督の元という感覚がやっぱり強い。

○部会長

小さいときは確かにそうだ。差異が出てきて、高校生の保護者と未就学の保護者で、差があったとかいうのは何か分析する方からすると知りたいなとは思う。

○部会員

意識も変わっていく。面白さはあるかも知れない。

○部会長

今回はそこまではせずに、むしろ条例作りが目的なので、全体の傾向をつかむということでやっていこう。

○部会員

はい。

○部会長

ではアンケートの方は、全体を通してこの内容で進めてよいか。

※一同賛同

○部会長

ありがとうございます。続けてワークショップの説明をお願いする。

○事務局

ワークショップについて説明

○部会長

実際に子どもたちに作って楽しんでもらうとか、いっぱいアイディアを出してもらうために、紙飛行機をやってみようということで、今日紙飛行機の紙を準備してくださっている。

※部会員で紙飛行機を折って飛ばしてみる※

○部会長

いくつも書いていいという感じで、書いてそれを飛ばしてあとで広げて。

○事務局

付箋だと一つの付箋に一つ書いたりすると思うので、こちらも何枚か渡して紙飛行機に意見を書いてみようみたいにしていったらいいと思う。

○部会員

表でも裏でも自由に書いてくださいという風に。

○部会員

まとめるのは大変そう。付箋だとグループ分けしていけばいいが。

○部会長

書いた中身を実際広げて見ていくような感じで行うとよい。

○部会長

付箋に貼っていくのもいいが、もう少し子どもたちの発想とかが豊かになるようにしたい。紙の大きさとかはまたこれから、どういう大きさが一番いいかとか、検討していくこととして、書いてくれたのをこんな感じで貼れるようにしたほうがいいとかも考えていくとして。

○部会員

ワークショップの中で書いたものを集めて、またまとめていく作業があるということか。

○部会長

はい。ワークショップの実施までにはまだもう1回部会があるので、またアイディアとかをこの飛行機じゃなくて他のものもあってもいいかなと思う。

○事務局

公募をしていくに当たり、逆算すると、次の部会が9月とちょっとタイトになるので、例えば紙飛行機を取り入れることでいいということであれば、それを前提に内容を固めていきたい。

○部会長

折り紙を作って飛ばすとなれば、結構子どもたちも参加の申し込みがあつてモチベーションがあがり、行ってみようみたいになるのではないか。内容はこれから詰めるが、飛行機に書いて飛ばすというワークショップで進められたらいいなと思うが、その方向でいいか。

※一同賛同

○部会長

あと、紙飛行機の紙の大きさはまた工夫していこう。

○部会員

ワークショップがある時期は歌声発表会もある。

○部会長

何かしら行事が重なりそう。

○部会員

子ども1人で来れるか？

○部会長

子どもさんだけでの参加でもいいと思う。

○部会員

低学年の方4年生とかですと、校区外は行つたらいけないとか、誰かがついていかないといけないと言われたりする。

○部会長

会場までは親御さんに送り迎えしてもらって、親御さんはずっといなくてもいいけど迎えには来てくださいというのはどうか。中学生は大丈夫かなと思うが、その辺の配慮が必要。

協議は以上。

次回の検討部会は9月30日18時から子育て支援センターでお願いする。

○事務局

＜出席のお礼、閉会の挨拶＞

閉会